

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	グループホームでの終末期ケアに関してスタッフ間で支援方針に認識のばらつきがある。	終末期ケアの支援方針、スタッフ全体で共通の認識を持つ。	定例のミーティングで法人の方針を説明し、医療行為等について理解し全スタッフに再認識させる。その後家族には評価結果の送付で報告し、ホームで出来ること出来ないことをしっかり伝える。	2ヶ月
2	2	運営推進会議で地区の方と意見交換は行なっているが近所の方とはホームを理解していただけるような交流が無い。	ホームの近所の方と身近になる。	近所の方にホームの様子を伝える便りを配布し、今までよりグループホームについての理解に努める。匿名でアンケートして近所の方の率直な意見を確認していく。火事などの災害時の応援体制を構築する。	6ヶ月
3	11	常勤・非常勤のスタッフに関係なく、個々のグループホームで働く事への思い等を聞き取り行なっているが実際に採り入れる事が少ない。	ホームの可能性を広げる。	各スタッフが意見を個別で出す事でチームワーク悪くならないようにする。小まめに個別などで意見を聞き、ケアの質向上のモチベーション低下しないようにする。様々な意見を出し合うことで活性化し施設としての可能性を広げる。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。